

Title	言語文化研究科博士学位論文題目
Author(s)	
Citation	大阪大学言語文化学. 14 p.222-p.223
Issue Date	2005-03-31
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/77918
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

言語文化研究科博士学位論文題目

以下は、平成 16 年 4 月から平成 17 年 3 月までに大阪大学大学院言語文化研究科において博士の学位を授与された者の氏名および博士論文の題目である。

平成 16 年 6 月 28 日授与（課程修了）

祁 暁明

中国詩話の日本詩話に対する影響関係の再検討

上田 哲二

台湾現代詩における家郷の位相

藤原智栄美

日本語話者とインドネシア語話者の「断り」に関する研究

遠藤 裕昭

Exploring a Corpus-Based Approach to English Diachronic Phonology:

Towards the Establishment of a Computerised Environment for Analysing Middle English Rhymes

森本 郁代

成員カテゴリー化の観点から見た社会的相互行為の諸相

ー多人数会話における話者交替を中心にー

加野（木村）まきみ

Dynamics of Language Contact:

Assimilation Process of New Loanwords and Impact on the Existing Lexical System with Special Reference to Japanese and German Loanwords in English

吉川 友子

異文化間交流の実践的研究

ー滞日留学生と日本人の会話における相互行為分析ー

横山 香

現代ドイツのポピュラー・カルチャー

ーその諸相と批判をめぐってー

室 淳子

Contemporary Native North American Literature:
Languages, Places and Images

劉 綺紋

中国語のアスペクト体系の再構築に向けて
－ “了”・“著”・“過” を中心に－

平成 17 年 3 月 25 日授与（課程修了）

岩男 考哲

日本語引用形式の諸相
－ 「ッテ」 を中心に－

仲 潔

英語教育における言語観
－ 期待される「英語学習者像」－

鈴木 清香

English Clefts and Their L2 Development by Japanese EFL
Learners